

市民の社会参加を支える

チカラ

ボランティア
コーディネーション
検定

カ

2018年版

実 施 要 項

第7回ボランティアコーディネーションカ1級検定

(研修2日・検定試験1日)

研 修 2018年7月14日(土)・15日(日)

試 験 2018年7月29日(日)

申込開始 2018年4月14日(土)10:00

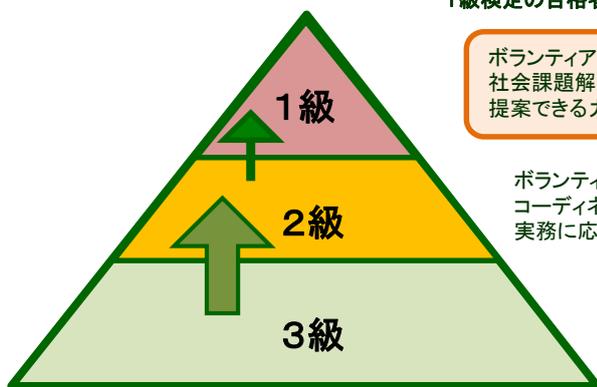
申込締切 2018年6月 2日(土)17:00

※ただし先着順で定員に達した場合は、その時点で締め切ります。

認定特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会(通称:JVCA)がボランティアコーディネーションカ検定を開始して10年目を迎えました。2018年3月末時点で3級検定受験者は、4,638人、合格者は3,933人になり、さらに、そのなかから697人が2級検定を受験され、503人の方々が合格されています。

そして、2012年より1級検定がはじまり、現在70人の合格者生まれました。ボランティアコーディネーションカ1級検定は言うまでもなく、本検定の最上位に位置付けているものです。(下記の全体像の図を参照)

全体像



1級検定の合格者像については次のように設定しました。

ボランティアコーディネーションカを使って社会課題解決に向けた有効で実行可能な方策を提案できる力を身につけている。



ボランティアならびにボランティアコーディネーションに関する知識を実務に応用する力を身につけている

ボランティアならびにボランティアコーディネーションに関する基礎的な知識を理解できている

ひとつの団体・組織におけるボランティアコーディネーションにとどまらず、社会的な視点で問題を捉え、課題を明らかにした上で、その解決に向けての取り組みをPDCAサイクルに沿って進めていける力。問題をひとりで抱え込み単独で解決しようとするのではなく、他のスタッフや仲間たち、さらには他の組織やセクター等と連携し、幅広い市民の参加と協働を得ながらプロジェクトを企画・運営していくことができるコーディネーションカこそが、この1級検定でめざしているところです。



主催: 認定特定非営利活動法人
日本ボランティアコーディネーター協会

これまでの試験結果

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
受験者数	36	30	25	23	16	22
合格者数	21	13	12	10	7	7
合格率	58.3%	43.4%	48.0%	43.5%	43.8%	31.8%

合格者所在地

人数	都道府県						
	大阪府	東京都					
9人	福岡県	京都府					
7人	長野県						
4人	栃木県	滋賀県					
3人	愛知県	兵庫県					
2人	神奈川県	埼玉県	島根県	奈良県	福島県	宮城県	山形県
1人	茨城県	岐阜県	千葉県	三重県	熊本県		

※受験当時の所在地となります。

合格者の声

高島市社会福祉協議会

橋詰 勝代



私は社協で赤い羽根共同募金が単に寄付を集めるためだけの運動ではなく、その運動を通じて地域福祉課題を知り、共感し参加する人を増やすために日々奮闘しています。

このような中で、1級を受験した動機は、ボランティアコーディネーション力の学びの必要性を強く感じたこと。全国の同志に逢えること。また、自身のボランティアコーディネーション力がどの程度、社会課題解決に役立てられるのか、客観的に評価していただきたくて受験しました。直前研修では講師陣の熱意が心に響きつばなしのカリキュラムの連続でした。(ココだけでも学び満載でお得感アリです。) また、日々奮闘している同志と意見を出し合い課題にむかえたことは今もボランティアコーディネートする時の拠りどころになっています。お守りや宝物はいただきました(笑)「これで安心」するのではなく、今後一人ひとりのボランティア活動を応援し続けられるように研鑽していきたいと思えます。

西南学院大学 キリスト教活動支援課
ボランティアセンター 副課長
山口 由美子

大学のボランティアセンター開設担当になったものの、知識も経験も人脈もまったくなかった私は、無我夢中で学びの場を探しました。その中で、一番業務に直結して役に立ったのが、ボランティアコーディネーション力3級検定でした。

その後、業務で実践しながら、2級、そして1級へと挑戦しました。検定の直前研修で知識を得ることはもちろん、ワークによる実践の振り返りや学び、仲間たちとの幅広いネットワーク作りなど、上級になるほど、得るものが大きな検定です。1級では、セクターを越えて協働するプログラム企画開発の実践的な学びへとつながっていききました。合格後は、所属大学で3級の共催検定を実施し、学生や地域の方々へコーディネーションの楽しさを広めつつ、今後も社会の担い手となる方々を増やしていきたいと願っているところです。

申込み上の注意点

- ① お身体の不自由な方で、受験の際に教室や受験方法に配慮が必要な場合は検定事務局まで事前にご連絡ください。(お早目をお願いします)
- ② 以下の場合は受験することができません。
 - ・申込期日を過ぎて申込書が検定事務局に到着した場合。
 - ・申込書が受付期間内に到着しても、書類または手続きに不備があった場合。
 - ・申込みの際し、所定の方法で申込みをされていない場合。

当日の注意点

- ① 1日目の研修は、昼食をとりながらプログラムを進めるため、軽食が付きまします。研修受講料には1日目の昼食代が含まれています。2日目については 昼食休憩を取りますので、外食がご自身でご用意ください。
- ② 宿泊の手配は事務局で行いませんので、各自でお願いいたします。予約は早めになされることをお勧めします。

キャンセル

- ① 受験料を期限内にお支払いいただけない場合(何らかの事情がある場合は、期限内に事務局までご連絡ください。)
- ② 受験料振込後の受験料・検定料の払い戻しは、主催者側に非がある場合を除いて、一切行いませんのでご了承ください。
- ③ 荒天や自然災害等の事情により検定及び直前研修が延期になった場合のキャンセルも、上記(2)に準じるものとするをあらかじめご了承ください。
- ④ お申し込み後に(入金前であっても)キャンセルされる場合は必ずご連絡ください。

受験票

入金後2週間以上経過しても受験票が届かない場合や記載事項に誤りがあった場合は、必ず事務局へお問い合わせください。受験票は直前研修終了時に交付します。

受験上の注意

- ① 次に該当する行為をした受験者は、その場で退場・失格とし、答案の採点はいたしません。また、不正行為等が合格認定後に判明した場合は、その合格を取り消しとし、以後の受験をお断りする場合があります。
 - ・本人以外が受験する。
 - ・他の受験者に迷惑をかける。
 - ・試験監督の指示に従わない。
 - ・携帯電話やPHSなどを使用する。(時計として使用することもできません)
 - ・録音機器、カメラ、辞書、テキストなどを使用する。
 - ・その他不正行為。
- ② 問題用紙・答案用紙の持ち出し、途中退出後の再入場も不正行為とみなしますのでご注意ください。
- ③ 受験者の答案は公表いたしません。また、問題に関する質問にはお答えできません。

合否結果発表

試験後1ヵ月を経過しても検定結果が届かない場合は、検定事務局へお問い合わせください。合否・採点・試験問題の内容に関するお問い合わせは一切お答えできません。

個人情報の取り扱いについて

検定事務局は、当該検定試験の申込みによって取得した個人情報(住所、氏名、生年月日、性別等、個人を識別、特定できるもの)を以下の目的にのみ使用し、他の目的で使用することはありません。

- ・受験票や試験結果の発送等、検定試験や研修に関わる連絡
- ・受験者の受験履歴の管理
- ・合格者名簿の管理

また、これ以外の目的に利用する場合は、ご本人(受験者)の同意を得た上で行います。

本検定試験をお申込みされた方は、この実施要項に記載されている全ての事項について、同意しているものとみなします。

● お問合せ・お申込先



ボランティアコーディネーション力検定事務局

認定特定非営利活動法人 日本ボランティアコーディネーター協会

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂2-13 末よしビル別館30D

TEL: 03-5225-1545

FAX: 03-5225-1563

http://www.jvca2001.org/

Eメール: jvca@jvca2001.org

